

KOFU21

Chartered 1990

甲府 21 ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21今月の強調
テーマ

2026 年 8 月会報

戦略 2032

2026 年 08 月 04 日 (火) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央 3 丁目 10-7
山梨 Y M C A グローバルコミュニティセンター☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック(ノルウェー) “Waking the Sleeping Giant with Blue Music”「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」 “YMI Empowering Life”「YMI 人生を力づける」
アジア太平洋 地域会長	ラチャン・マニカーン(タイ) “Awakening the Asia Pacific with Blue Music” 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」 “Empowering Communities, Inspiring Generations”「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」
東日本区理事	山下 真(十勝) 「挑戦なくして進化なし」 ～響け 挑戦のブルーミュージック!!～
あずさ部部長	大和田 浩二(松本) 「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう」 ～改革を引継ぎ、さらに発展させる!!～
甲府21クラブ会長 荻野 清	“Let's Be Friends Everyone” 「みんな、友達になろう!!」 “One Step Closer, Friends Forever” 「一歩近づけば、みんな友達」

今月の
聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、
神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
ペテロの手紙 4章10節 江口 英雄

8月 巻頭言

八月の山梨 甲府 21 ワイズメンズクラブ
会長 荻野 清



茹だるような暑さ、酷暑の甲府。毎年、七月の下旬から八月中旬は、当たり前のように押し寄せて来る季節。さらに近年は、九月上旬まで続いているように感じられる。何とかならないものか、現在の科学では無理なのか.....

朝の涼しさは、ほんの一瞬。太陽が昇れば、一気に盆地らしい濃い熱が広がり、周辺の山々の稜線がゆらゆらと揺れて見えてくる。これが甲府盆地の特徴で、自然の力強さを感じさせてくれ、桃や葡萄などの果実産地の所以である。

避暑的な場所として、昇仙峡がある。渓谷沿いを歩けば、柔肌を伝う水の音が絶えず耳に感じ、仙娥滝ではマイナスイオンの空気を感じ、心がずっと冷やされる。そして、木々の葉が太陽を受けて輝き、時折吹き抜ける風が、心地よく汗ばんだ肌に触れ、軽快に歩ける夏の山である。

少し足を延ばして、河口湖や山中湖へ向かうと、まず夏の霊峰富士が迎えてくれる。湖面に映る富士の姿は、季節の移ろいを語りかけてくる。夏の行楽トップ

シーズンを迎えて、多くの観光客で賑わっている富士五湖。そんな忙中にも、夕暮れの湖畔のベンチに腰を下ろし、水面が金色に染まり、富士山や遠くの山並みを眺めていると、日常の慌ただしさが消え、心の奥に余韻が生まれてくる。夏の湖畔である。

八月の山梨は、暑さの厳しさの中にこそ、自然の豊かさと静けさが潜んでいる。山を歩き、湖を眺め、風に触れることで、季節の深さを全身で味わえる時期である。われわれは、忙しさを脇に置き、自然の中で呼吸を整える時間を持つことで、リフレッシュ感が強く出て、新しい気持ちで日々に向き合えることが可能である。

7月会計報告

会計 水越正高

[会計報告]

2026 年 7 月末現在

項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
7月の合計	34,600	0	34,600
7月末迄累計	34,600	0	34,600
達成率	13.8%	0%	9.8%

< 7 月例会出席者 >

F

会員数	44名
第一例会出席者	33名
ゲスト出席者 大和田あずさ部長、中田	4名
総主事、雨宮潤様、折笠浩二様	
メネット	6名
総出席者数	43名
出席率(会員のみのみ)	75.0%

2026 年 8 月第 1 例会例会プログラム

2026.08.04 (火) 18:30～
山梨YMCA3 階大澤英二記念ホール

【プログラム】

- | | | |
|--------------------|-----|---------|
| | 司会： | 佐藤 利之ヲヰ |
| 1. 開会点鐘 | | 荻野 清会長 |
| 2. ワイズソング / ワイズの信条 | | |
| | 奏楽 | 杉田 博子ヲヰ |
| 3. 今月の聖句、一言 | | 江口 英雄ヲヰ |
| 4. 会員ひと言 | | 雨宮 潤ヲヰ |
| 5. 会長挨拶 | | 荻野 清会長 |
| 6. ハッピーバースデー | | |
| 7. ワイズディナー | | |
| 8. 連絡事項 | | |
| 9. YMCA 諸報告 | | |
| 10. YMCA の歌： | 奏楽 | 杉田 博子ヲヰ |
| 11. 閉会点鐘 | | 荻野 清会長 |

今後の予定

- 8 月 9 日 (日)：「平和への祈りコンサート」
鎌田巖 (講和) 杉田博子 (ソプラノ)
県立図書館 2 階多目的ホール
- 8 月 18 日 (火)：役員会
- 9 月 1 日 (火)：第 2 例会 (ぶどう棚下例会の準備)
- 9 月 4～6 日 (金～日)：
YVLF (八王子わくわくビレッジ)
- 9 月 12 日 (土)：ぶどう棚下例会@甲州市ぶどうの丘 会費 5,000 円
- 9 月 21 日 (祝・月)：銀河鉄道の森デイキャンプ 2026 @ 韮崎市銀河鉄道の森

< 8 月の誕生者 >

< メン >

奥水 順雄 6日 藤原 琢也 7日
平賀 佳雅 23日 飯田 剛 30日

< メット >



水越直前会長慰労の集い

報告者：書記 藤原 琢也

イベント名 水越直前会長 慰労会
開催日時 2026 年 7 月 21 日 (火) 18:30 ～
開催場所 やなぎ町カフェ
参加人数 26 名

■ 開催の目的

1 年間の任期を無事に終えられた水越直前会長へのこれまでの感謝を伝えるとともに、今後の更なるヲヰ活動での活躍を祈念して。

■ 当日のプログラム

1. 開会の挨拶・乾杯 (荻野会長)
2. ご歓談・エピソードトーク
- ・美味しい食事とお酒を囲みながら、この 1 年間の思い出話や労いの言葉で大いに盛り上がりました。

3. 水越直前会長からのご挨拶

4. 有志メンバーによる感謝のスピーチ
5. 閉会

■ 全体の雰囲気

終始笑顔と笑い声が絶えない、非常に賑やかで楽しい会となりました。1 年間という任期を終えた水越前会長へ参加者それぞれが直接感謝を伝えることができ、前会長からも温かいお言葉をいただくなど、1 年間の功績を労うにふさわしい一体感のある素敵な慰労会となりました。

また、参加者からは今後の更なるご活躍を期待するとともに、「数年後にはぜひ再び会長として戻ってきていただきたい」といった声も多く聞かれ、今後の再登板を望む温かい雰囲気にも包まれた会となりました。まさに激アツの会であった。



7 月キックオフ例会報告

新体制が始動！
次世代へつなぐ「エンジョイクラブ」の幕開け

報告者：書記 藤原 琢也



開催日時：2026 年 7 月 7 日（火）18 時 30 分～ 山梨 Y
MC A3 階 大澤英二記念ホール
甲府 21 ワイズメンズクラブでは、上記日時にて総会および新年度キックオフ例会を開催しました。前年度の活動を締めくくるとともに、荻野新会長のもと、活気あふれる新年度のスタートを切りました。

1. 前年度の活動総括と決算報告

水越直前会長より、2025-2026 年度の事業報告と決算報告が行われました。「コネクティング・ザ・ネクストジェネレーション」を主題に、ベビーカーコンサートや「子ども夢基金」を活用したデイキャンプなどを 2 回実施した。YMCA クラブ会員 ユースリーダーの 3 者連携による青少年育成活動に大きな成果があったと述べた。また、クラブ創立 35 周年記念の旅を企画実施し会員間の絆を深めた一年が総括されました。一方で、課題として会員増強については自身の力不足で大きな拡大が叶わなかったと反省を述べた。ユースリーダーとの例会での交流機会が減少したことを残念に思うとし、今後の関係強化の必要性を強調しました。

2. 新年度体制の発足：荻野新会長が掲げる「エンジョイクラブ」

バトンを受け継いだ荻野新会長より、2026-2027 年度の活動方針が示されました。

●主題・スローガン：主題を「みんな、友達になろう」、スローガンを「一歩近づけば、みんな友達」とし、年 2 回程度のグルメ会や近隣散歩会などを企画し会員自身が活動を楽しみ、親睦を深めることを最優先します。

●目標：会員数を 50 名に増やすことを目標に掲げました。

●新役員：荻野会長、薬袋副会長、藤原書記、水越会計、興水幹事の各役員が選出され、承認されました。

3. 新しい仲間と会員の近況報告

例会では、新たな出会いと会員の近況報告で会場が活気づきました。

●新入会員：荻野会長の紹介で不動産業を営む 32 歳の最年少メンバー雨宮潤様、および奈良田ワイズの紹介ビル管理業の折笠浩二様の 2 名を迎え、総勢 46 名となりました。

●久しぶりに参加の会員：市川ワイズ（農業委員就任・狩猟等）、赤池ワイズ（自治会長就任・ギター再開）、依田ワ

イズ（日本語学校経営）の 3 名より、多忙中での近況が語られました。

4. ゲストからの期待の声

●大和田浩二様（あずさ部部長）：36 年前の設立当時を振り返り、今やあずさ部でナンバーワンのクラブに成長した歴史に触れ、チャーターメンバーと新しいメンバーが共存する稀有で素晴らしいクラブであると称賛いただきました。

●中田純子様（山梨 YMCA 総主事）：総主事として 5 年を迎えるにあたり、これまでのクラブからの支援に改めて感謝申し上げますとの旨、お言葉をいただきました。今後は「つなげられたバトンを次の良い形に渡していく」という使命感を持ち、100 周年に向けて歩みを進めていく決意を述べ、クラブへの継続的な支援と協力を要請されました。

5. メネット会への感謝：35 年の歴史に幕

長年にわたりクラブを支えてきたメネット会が、35 周年を機に活動を終了し解散することが報告されました。これに対し、ワイズから長年の功労を称える謝辞が贈られました。

●ワイズからの言葉：寺田ワイズからは「バザーなどで男性メンバーを上回るパワーを発揮してくれた」とその歴史への敬意が、水越直前会長からは長年の貢献に対する深い感謝が述べられました。

●メネット会より：松村メネット、相川メネットが、「本当に楽しい会だった」「メンバー同士のつながりが強く、良い会だった」と、これまでの活動を温かく振り返りました。感謝の花束が贈呈され、今後は個人として例会等に協力していくことが確認されました。

6. 諸報告：活動の広がりや協力のお願い

例会後半の事務連絡では、以下の報告と協力依頼が行われました。

●ぶどうファンド：新商品「サンシャインレッド（限定 50 箱）」案内がされました。

●YMCA 施設整備寄付金：創立 80 周年を記念した寄付を募集中です。

●ハッピーバースデー：7 月生まれワイズが紹介され、全員で祝福した。

新たなメンバーを迎え、荻野新会長のもと、目標である 50 名に向かって「一歩近づく」活動を続けてまいります。

参加して下さったメネットの皆さん



お久しぶり。左から 市川さん、赤池さん、依田さん



新入会 雨宮 潤さん



新入会 折笠 浩二さん



水越直前会長から
荻野新会長へバッジ装着



山口会計による 2025 年度
会計報告

さあ、友だちになろうよ。

「楽しい」が
つながりを生む
雨宮 潤 さん
(あめみや・じゅん)
2026 年 7 月入会
第 1 話



『楽しい』がつながりを生む — 雨宮潤さんが語るクラブ活動の魅力

会社員生活を経て独立した雨宮潤さんは、新たな人生のスタートを切る中で、地域とのつながりや社会貢献の場を求めています。そんな時、荻野会長からクラブへの参加を勧められ、「やります、やります」と自然な気持ちで入会を決意します。活動を始めてみると、義務感ではなく「自分自身が楽しめること」が何よりも大切だと感じるようになり、その楽しさが活動を続ける原動力になっていると話します。

クラブには、不動産業や金融業、保険業など幅広い分野で活躍する会員が集まっており、異なる業界の考え方や経験に触れられることも大きな魅力です。同じ業界の仲間とも競争相手ではなく、お互いの得意分野や地域性を生かしながら協力し合える関係が築かれています。また、新しく入会した人に対しては無理に輪の中へ入れるのではなく、例会や活動を通して自然に交流を深めていく雰囲気があり、自分の仕事や趣味をきっかけに会話が広がっていくことも特徴です。

活動内容も多彩で、アウトドア活動やボランティア、地域住民が集う山梨 YMCA バザー（大人の学園祭）の運営など、会員が力を合わせて地域を盛り上げています。飲食や物販の企

画では、新しいアイデアも積極的に歓迎され、誰もが自分らしく参加できる環境づくりが進められています。さらに、音楽やスポーツ、ラーメン店巡りなど趣味の話題も会員同士をつなぐ大切なきっかけとなっており、クリスマス例会でのバンド演奏や AI を活用した音楽づくりなど、新しい挑戦への期待も語られました。

雨宮さんは、クラブは単なる奉仕活動の場ではなく、多くの人との出会いを通して自分自身も成長できる場所であると感じています。そして、「楽しいから続けられる」という前向きな気持ちが、地域への貢献や仲間との信頼関係につながっていくことこそ、このクラブの最大の魅力であると語っていました。

＜インタビューアー F より＞

雨宮さんは、甲府市出身。お父さんは、アパートの経営を行っていた、ということで大学生の時に一念発起して「宅建士」資格を取得。お父さんの仕事の手伝いが出来れば、とのことで取得したということ。卒業後も在学中に宅建士の資格を取得したこともあり不動産業界に就職が決まったということです。

音楽について、先日 A さんがボーナスでギターを購入しました、と報告がありましたが、雨宮さんはドラムスをやっていたということ。甲府 21 の中で、バンドができるのではないのでしょうか。

今年度の荻野会長の主題は、「みんな、友達になろう！！」です。ブリテンでは、毎月一人ずつお友達を紹介してまいります。次は、あなたの番です！！

F

“Let's Be Friends Everyone”
“One Step Closer, Friends Forever”
「みんな、友達になろう！！」
「一歩近づけば、みんな友達」



**次回
予告**

インタビューアー **F** が
あなたのところへ参上します。
今回は、O さん取材します。

ペンリレー

カトリック教会の秘跡

赤池 譲司

先日、ワイズメンバーからカトリックの秘跡について話が出たので、知らない人もいるかもしれないと思い、カトリック教会の秘跡について書きたいと思います。

カトリック教会が伝統的に認めてきた秘跡は7つあります。1、洗礼 2、堅信 3、聖体 4、ゆるし（告解） 5、病者の塗油（終油） 6、叙階 7、結婚 以上の七つです。洗礼、堅信、聖体は「入信の秘跡」と呼ばれ信者になるための秘跡です。この時にカトリックでは、洗礼式に立ち会う証人として男性なら代父、女性なら代母を立てます。映画のようですが、英語ではゴッドファザー、ゴッドマザーといいます。洗礼では、水を頭に注ぎ、堅信では按手しながら額に聖香油を塗油します。また、聖体はミサの中で聖別されたパン（キリストの体）を拝領します。

幼児洗礼の場合、7歳以上になると初聖体を受けます。その後、10歳から15歳くらいになり堅信の秘跡を受けます。成人洗礼の場合は、洗礼と堅信を一緒に受ける場合が多いです。

次に、ゆるしの秘跡ですが、かつては懺悔とか告解とか呼ばれていました。神様の前で悪かったと思えることを神父に告白して、神様のゆるしを受ける秘跡です。映画などで見た方もいるかもしれませんが、聖堂内に設けられた、中に仕切りがある（小窓がついている）小部屋で片側には神父が、もう片側に告解をする信者が入り罪を告白してゆるしを受けます。

私は、いつも一緒に仕事をしている神父に罪を告白することをためらっているため、受けられないままです。

その次に病者の塗油について、この秘跡も以前は終油の秘跡と言われてましたが、現在は名称も変わり、臨終のときだけでなく、重い病気の時や手術を受ける前にも受けられるようになりました。私の場合、亡くなった母親が病院に入院して手術を受ける前に、神父から病者の塗油をしようかと言われましたが、昔のイメージで塗油の後死ぬかもしれないと思ってしまいこの秘跡を受けることができませんでした。

最後に叙階の秘跡と結婚の秘跡についてですが、叙階とは、司教、司祭、助祭に任命されることです。これもカトリックの秘跡になります。結婚の秘跡とは、カトリックの信者同士の結婚の儀式です。式はミサの中で行われ、男女が教会の前で結婚の合意を交わすことによって、秘跡を授けられます。さみしい話ですが、若いカトリック信者が少なく、ここ何年かはカトリック教会での結婚式を見ていないです。



◆YMCA便り◆

『各クラブのキックオフ例会を訪ねて』

総主事 中田 純子



山梨の山々も緑深く輝き、果実の甘い香りが風に乗って漂う季節となりました。

7月に幕を開けた新しい年度も早いもので1ヶ月が経ち、各地のクラブで新体制による活動が本格的にスタートいたしました。この数週間、私はそれぞれのクラブで開催された「キックオフ例会」に何う機会に恵まれました。どの会場をお訪ねしても、皆様が弾けるような笑顔とあたたかい拍手で迎えてくださり、胸がじんわりと熱くなるような、感謝に満ちた時間を過ごすことができました。

今年度のスローガンや活動への思いには、それぞれの地域社会やYMCAに対する深い愛情と、「みんなで挑戦していこう！」という前向きな情熱がいっぱいに詰まっていました。また、久しぶりに一堂に会した仲間の皆様が嬉しそうに近況を語り合い、これからの事業に向けて楽しそうにアイデアを出し合うお姿に接し、「奉仕と交わり」というワイズメンズクラブの不変の原点を改めて実感いたしました。それぞれのクラブが長年大切にされてこられた歴史やカラーをそのままに、未来へ向かって力強く、そしてしなやかに一步を踏み出す瞬間に立ち会えたことは、総主事として大きな喜びであり、私自身もたくさんの元気をいただきました。

YMCAにおきましても、7月の学校夏季休業の開始に伴い、連日早朝から乳幼児から高齢者まで多くの皆様をお迎えし、元気な歓声があふれる活気豊かな日々を過ごしております。ワイズメンズクラブ、各団体、各事業部の連携により、ステンドグラス作り、お金の大事さ、防災、平和学習、ハンドベルで奏でる音楽、流しそうめん体験等のプログラムを実施しております。ぜひ山梨YMCAにも足を運んでいただき、利用されている方々の笑顔に触れ、共に歩む時間を感じていただければと思います。

